

令和元年度第5回放課後子どもプラン運営委員会会議録

日 時 12月20日(金) 午前10時00分から11時30分

場 所 801会議室

出席者 田中委員長、浦野副委員長、石原委員、志波委員、佐藤委員、多田委員、大久保委員、前田委員、黒田委員

関生涯学習課長、菊池図書館長、林公民館長、松井庶務課長、浜田指導室長、鈴木児童青少年課長、富田子育て支援課長

富沢コーディネーター、伊藤コーディネーター、小岩コーディネーター、成田コーディネーター、古源コーディネーター、森田コーディネーター、西田コーディネーター、吉田コーディネーター、伊野コーディネーター

小堀生涯学習係長、鈴木生涯学習係主任

欠席者 並木委員、増山委員、旭岡委員

傍聴者 1名

1 議 事

(1) 各小学校区の事業の進捗状況等について報告

【一小】来年度全日開催を目指し、スタッフ募集の説明会を実施。PTAに放課後の子どもの居場所の在り方、保護者の見守りについてのアンケートを実施。その結果をもとに今後の方針について話し合っていく。

【二小】10月、11月に初めて校庭遊びを実施。来年度は本格的に実施する予定。学校のHPに放課後子ども教室をリンクしてもらった。

【三小】特別教室として天文学教室と緑中の合唱部によるコンサートを実施。新しく始めた工作教室に45名もの参加があり、今後申し込み制にするなど検討する。校庭開放は、1月、2月は予算がないためお休み。

【四小】10月末からのインフルエンザで一時休止した。今年度は雨が多く中止も多い。

【東小】二学期は、体育館イベントを実施。来年は2回体育館イベントを開催したい。

【前原小】雨天時の教室開催の中止がなくなったことにより、保護者から参加しやすいという声。児童フェスでの子どもたちの意見をもとに、今後自由遊びをメインに回数を増やしていきたい。

【本町小】10月28日から月曜日の開催を始め、週五日開催になった。一中吹奏楽部によるクリスマスコンサートを開催。冬休みに伝統遊びの教室を開催予定。

【緑小】11月から冬時間により、学童の集団下校時間が4時半になったので、学童児童の参加者に早めに学童に戻るよう声掛けをしている。

【南小】低学年保護者会時の、臨時教室を開催。来年度に向けて教室どの様にしていくかスタッフと調整中。

【外部委員】本町小の全日開催は、ボランティアも集まって順調か。

【コーディネーター】30人のボランティアで運営できている。

【実行委員会】

① 第6回実行委員会

安全管理員の他校へのヘルプ体制について話し合った。アンケート調査を市で実施してもらいたい。

② 第7回実行委員会

今年度予算の過不足の確認。救急救護講習。運営スタッフへの謝金。

(2) 協議会の報告について

【事務局】先日行った本町小第2回協議会について報告。会議録は次回運営委員会で配布予定。来年度普通クラスが増える見込みだが、放課後子ども教室の教室利用には影響はない。放課後子ども教室は10月28日から月曜日の開催を始め、週五日開催になった。

(3) その他

【事務局】地域学校協働活動について資料に基づき説明

【外部委員】P連でもコミュニティスクール・地域学校協働活動の準備を進めている。今年度の役員で地域学校協働本部の下支えをする意味で、P連と小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会と協定を結んで情報の共有を行う。また、必要な人材を確保しなければならないので、PTAを卒業される方に、地域連携アドバイザーとして各校に1, 2名派遣することを準備している。

【委員長】協働本部の主体になるところはどこか。この組織運営を論議していくところが、この運営委員会になるのか。

【内部委員】本部の在り方については、試行期間を踏まえながら、コーディネーターを中心に活動を束ねていくので、コーディネーターが主体となって学校や行政と相談しながら行う。

【委員長】コーディネーターと行政との関係は。

【内部委員】放課後運営委員会はこの議論の場ではない。この事業については生涯学習課が担当になるが、指導室と連携を取りながら進めていく。

【コーディネーター】特定の方の意見が学校にいつてしまうのが心配。

【外部委員】一つの学校の中に地域学校協働本部と学校運営協議会と二つ作るのか。

【内部委員】コミュニティスクールが方針等を決めるところで、地域学校協働本部は実行部隊のようなイメージで、コーディネーター等地域学校協働本部の方の何名かは学校運営協議会に入ってもらおう。学校長一人ではなく地域のみなさんで子どもたちをどういうふうに育てていくか考えていく。

【外部委員】最終決定権はどちらか。

【内部委員】学校運営の基本方針はコミュニティスクールで決定する。それを今実際にやっているのが緑小。その結果は報告していきたい。

【外部委員】PTA会則において、学校運営に関する事と教職員の人事に関する事は、一切干渉しないとなっているので、コミュニティスクールになってもPTAの立場ではそのことには干渉しないと思う。

【外部委員】コミュニティスクールの基本方針を定め、地域学校協働本部で実行していくとのことだが、そのまま実行という事ではいろいろ齟齬をきたすから何回かキャッチボールをして、最終的には両者ですり合わせをするような形になるのかと思

う。

【内部委員】そのとおりいろいろなことが起こると思われる。最終的には校長の判断というところもでてくると思われる。

【外部委員】前回の説明で学校運営協議会と地域学校協働本部と両輪として、子どもを支えていくとのことだったので、どちらがどちらに従うとかではなく、共に同じレベルで子どもたちを支えていく取り組みだと理解したが。

【内部委員】そのとおりだと思う。ただどちらが方向を決めるかと言われたときに、方向を決めるのはコミュニティスクールになる。

【委員長】健全育成の地区委員会に学校の先生が登録されているが、中部地区の場合、ほとんど出てこないのも、こういうものを作っても学校の校長先生がそんなに地域ということを考えているのかどうなのか。

詳細を詰めたうえで、次年度以降改めて、説明していただきたい。

【コーディネーター】緑小で行われている内容を示してほしい。何をどうしていったらいいかわからない。

【内部委員】社会教育法の改正に伴った地域学校協働活動の仕組みづくりが全国的に求められている。やり方については、地域の実情にあったやり方と考えている。今年度からコミュニティスクールについては緑小で試行的に行い、それを踏まえて全市的に広げていく。地域学校協働活動の枠組みの中に入っていき、これで放課後子ども教室が変わるものではない。

【外部委員】運営委員会は協議会とかかわるのか、本部とかかわるのか。運営委員会との関係はどうなるのか。

【内部委員】学校運営協議会と放課後運営委員会との位置づけは、何かフィードバック、審議といった位置づけではない。

【外部委員】学校という一つの地域の話をしているところと、運営委員会という市全体の話をしているところで、フィードバックできる形になるといい。

【委員長】先ほど緑小の話がでたが、緑小は児童館も近ければ中学も近い。地域的な、特殊性がある。一小の場合は児童館すらない。従って、緑小がモデルになるということは、小金井市にとってはあり得ない。もう少し具体的、補足的説明を今後してほしい。

【コーディネーター】今回の資料に実際に緑小で行っていることを記載してもらえるとわかりやすい。

【内部委員】緑小の報告書を3月につくる。それをもって説明ができる。この資料に入れ込むのは難しいかもしれない。

【外部委員】地域学校協働本部は大きな力をもつ。教育委員会が各学校にできたようなものに捕られかねない。予算編成まで持たせるのか。

【内部委員】学校予算をここで決定したり、要望するものではない。

【委員長】本日は皆さんからいろいろな意見をいただいたことを踏まえて、小金井市としての地域学校協働本部の在り方について、具体的なものを今後の委員会で示してほしい。その際に、この問題の論議をするのがこの委員会なのかはっきりさせてほしい。

【外部委員】三鷹市が既にコミュニティスクールをやっている。どんな形でやっているのか情報はないか。

【内部委員】三鷹の情報はもらっている。緑小と一中の校長は三鷹の教育委員会の行政で自分たちでやってきている。その経験を基に、小金井ではどのようにしていくか今行っている。

【外部委員】石原委員が社会教育委員で視察にいつている。情報提供していただきたい。

【外部委員】今年の7月に社会教育委員として、緑小の校長先生も一緒に三鷹の視察に行った。三鷹では、小学校二つと中学校一つで一つの地域の学校として、地域の協働活動を行っている。学校の中に机を並べて、推進委員の方が一緒に仕事をしている。学校の先生の負担を少しでも軽減できるようにということで、推進委員の方をお願いしている。地域ごとに特徴が違い、その地域でできることを行っている。

学校の協議会は学校のことを話し合っ、協議をしたものを協働本部におろして、それに則って、何ができるか話し合いをしている。学校の方針的に下りてきたものを、どうやって生かしていくか話し合いをして、違う方向に行きたくなったら戻すという連携が取れている。

二小、一中学で行っていて、その小学校の子はそのままその中学にあがるので、連携してカリキュラムも組んでいる。小金井でそれができるかは難しいところがあるので、各地域に合わせて考えていかなければならない。

意見があれば、社会教育委員の会議でだせるようにしたい。

【外部委員】P連も中学が主体となって小学校がついて、三鷹と同じ。

【委員長】この論議は改めて来年度行う。

【事務局】前回の会議録の確認をお願いします。

【外部委員】実行委員会報告のアンケートの実施と推進委員への謝金については。

【委員長】アンケートの実施と推進委員への謝金については次回へ持ち越し。

【内部委員】検討する。

【委員長】これをもって第5回の運営員会終了とする。